

島嶼部沿岸扇状地小流域における地下水流動にともなう脱窒特性

Characteristics of denitrification process with groundwater flow in the small alluvial fan catchment located on an island

齋藤 光代 [1]

Mitsuyo Saito[1]

[1] 広大・生物圏・共存

[1] Grad., Biosphere Sci., Hiroshima Univ.

近年、硝酸性窒素による地下水汚染が多くの農業地域において顕在化している。これらの汚染の改善のためには、自然の浄化作用を最大限に活用することが重要であり、その発生機構について明らかにする必要がある。従来から、地下水流出域ないし地下水流動にともない、脱窒作用による硝酸性窒素濃度の減衰が起こる現象が確認されてきている。斉藤ら（2005）は、瀬戸内海の島嶼沿岸部において、環境基準を超える高濃度の硝酸性窒素が、地下水流動にともない顕著に減少することを確認し、それが脱窒反応によるものである可能性を明らかにした。本発表では、特に、流域の地下水流動に注目し、沿岸地下水における脱窒特性について議論を行う。